

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	オピオイド誘発性便秘に対するナルデメジンの臨床効果
研究責任者	大阪薬科大学 内田まやこ 聖隷浜松病院 石塚友一
研究実施体制	大阪薬科大学 聖隷浜松病院
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2021年3月31日
対象者	オピオイド誘発性便秘の解消のためにナルデメジンを服用した成人がん患者様
研究の意義・目的	オピオイド誘発性便秘に対するナルデメジンの臨床効果を検証することで、ナルデメジンの臨床効果、服用開始時期、併用緩下薬の減薬効果による患者様のQOLの向上に役立つと考えられる。
研究の方法	電子カルテに保存された診療情報から後向きにデータを収集します。調査内容は、年齢、身長、体重、性別、疾患名、既往歴、治療歴、PSといった患者様背景のほか、ナルデメジンの投与量と投与期間、排便状況、併用緩下薬、オピオイド鎮痛薬の種類と投与量、服用薬剤数等に関する情報を収集し、ナルデメジンの臨床効果について解析を行います。 得られたデータは連結可能匿名化により保存されます。この際、個人を特定される危険性を排除するため、氏名・ID等は本研究固有の記号等に置換し、治療日等の情報は削除または入院日を起点とした相対値に変換し、匿名加工を行います。さらに、データファイルにはパスワードを設定し第三者がファイルを開くことができないように設定します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 薬剤部 (氏名)石塚友一 TEL:053-474-2222(代表) 薬剤部 9:00~17:00 平日